

気密検査

◎冷凍・空調設備は、ユニット型と非ユニット型に大別されます。

- 1 ユニット型は、圧縮機・凝縮器・冷却器等が共通架台上に組み立てられ、メーカー(機器製造業者)により設計強度(耐圧試験)又ガス漏れ等の気密性能(気密試験)が工場で確認され、試験に係る合格証明書が発行されます。
- 2 非ユニット型は、圧縮機・凝縮器・冷却器等が設置場所で据え付けられ冷媒ガス配管等がフランジ又は溶接工法により施工されます。(設計強度(耐圧試験)はメーカーで確認され試験に係る合格証書が発行されます。)

<<次の場合は気密試験等の検査が必要です。>>

非ユニット型の設置並びに、ユニット・非ユニット型の変更工事が完成したとき。

※但し、第二種製造者は製造設備の変更の工事が完成したとき、試運転を行った場合はこの限りではない。